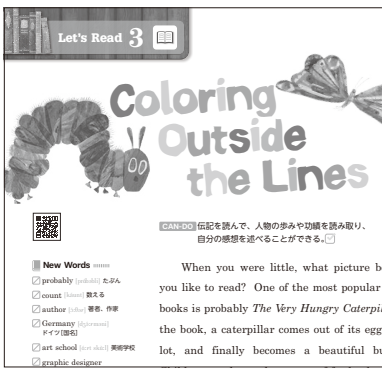


2 対照表

図書の構成・内容	留意点	具体例
全体	①基礎・基本となる文や文構造、文法を系統的に学ぶと同時に、それらを単なる知識としてではなく、目的・場面・状況に合わせて活用できるコミュニケーションの力として育成することをめざしています。(第1号) ②各Unitで取り上げる題材を通して、異なる文化の発想や考え方を知り、広い視野でものごとをとらえる力や相手の立場に立って理解しようとする態度を育成します。(第1号) ③生徒の心情に訴える題材を取り上げ、思いやりや生命の尊さ、郷土を愛する心、国際理解などの道徳心を培いつつ、昨今の世界情勢を踏まえた平和教育の題材を取り扱っています。(第1号) ④学年3回の節目で行うStage Activityや巻末には、生徒の興味関心に結びついた語彙集や資料があり、豊かな自己表現を促します。(第1号) ⑤Real Life Englishでは、言語の使用場面や働きを踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。(第2号) ⑥Unitの中に働く人の姿を織り込み、働くことに関する意識の醸成をめざしています。(第2号) ⑦学校での活動や他教科の学習に配慮して教材を配置しています。生徒は、自らの学校生活と重ねて学習が進められます。(第2号) ⑧対話的な学習を促すために、ペアやグループで取り組む活動を豊富に用意し、相手意識を持ってコミュニケーションを行ったり、相手の立場に立って考えたり、協力し合ったりする態度を育みます。また対話の方法として、主張と理由を伝え合うミニディベートも取り扱っています。(第3号) ⑨イラストや写真を含め、ジェンダーにとらわれることなく男女が協力して生きる様子を取り上げています。また、誰もが住みやすい社会をめざす取り組みを題材として扱っています。(第3号) ⑩自然を大切にしたり、環境の保全を強く意識したりするような題材を取り上げています。(第4号) ⑪世界に日本の良さを発信しようとする生徒を育成するために、伝統や文化、自然に関する題材を取り上げています。(第5号) ⑫国語との関連を図り、日本語との関連から、英語について学べるような資料を掲載し、言葉への豊かな感性と情操を育成します。(第5号) ⑬グローバル社会で生きることを意識し、海外の生活や文化を理解した上で、尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)	①p.9 Unit 1 「What is special about Japanese pop culture?」のPreview、p.10、11、13、15のActivity 1～4、p.16のUnit Activity ②pp.51～58 Unit 4 「How can we help each other in a disaster?」  日本国内の国際化にも目を向け、災害時の外国人支援を扱います。 pp.77～84 Unit 6 「What does it mean to be a global citizen?」 ③pp.46～49 Let's Read 1 「A Mother's Lullaby」 pp.61～68 Unit 5 「What makes a good leader?」 ④pp.42～45 Stage Activity 1 「Discover Japan」 ⑤p.17 Real Life English Scene 1 「ディスカッション」 p.27 Real Life English Scene 2 「講演」 p.59 Real Life English Scene 4 「町中での手助け—申し出る—」 ⑥pp.19～26 Unit 2 「How do you choose your clothes?」 ⑦pp.72～75 Stage Activity 2 「My Activity Report」 ⑧pp.9～16 Unit 1 「What is special about Japanese pop culture?」 pp.88～91 Stage Activity 3 「Let's Have a Mini Debate」 ⑨pp.77～84 Unit 6 「What does it mean to be a global citizen?」 ⑩pp.31～38 Unit 3 「How can we save animals?」 pp.92～95 Let's Read 2 「Power Your Future」 ⑪pp.9～16 Unit 1 「What is special about Japanese pop culture?」、pp.42～45 Stage Activity 1 「Discover Japan」 ⑫p.18 Learning Japanese in English ⑬pp.77～84 Unit 6 「What does it mean to be a global citizen?」 pp.102～104 Further Reading 「Malala Yousafzai: Education First」

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

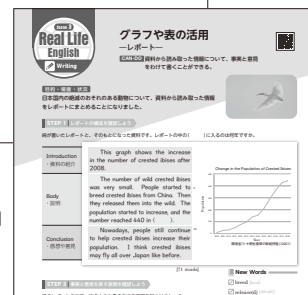
(1) 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

観点	留意点	具体例
① 特別支援教育への配慮	①本文やNew Words、Key Sentencesなど、紙面上の要素のデザインや配置を統一しているため、学習の流れを見通すことができ、安心して学習に取り組むことができます。 ②二次元コードをパートごとに配し、音声学習に取り組みやすくしています。	①② pp.9～16 Unit 1 「What is special about Japanese pop culture?」
② ユニバーサルデザインへの取り組み	Unit、Stage Activityの2つのメイン単元があり、それに付随してより実践的な英語力をつけるためのReal Life EnglishやLet's Readも配置されています。Unit内の単元末活動 (Unit Activity) を積み重ねることで、学期末のStage Activityへと到達できます。このように構成を規則的にし、学習のユニバーサルデザイン化を図っています。	 pp.2～3 目次「学習の見通しを立てよう」 p.39 Real Life English Scene 3 「グラフや表の活用—レポート—」 pp.96～100 Let's Read 3 「Coloring Outside the Lines」

③造本上の工夫	①GIGAスクール構想に対応して、視聴覚教材での学びが適しているものは紙面からデジタルコンテンツに移し、A4判の紙面には余白を残して、生徒が手書きでの書き込みができるようにしています。また、指導時数も全体で11時間削減し、140時間の7割で指導を終えて、残りの3割は端末を使った個別最適な学びに充てることを前提に、過度な負担を極力おさえるように編修しています。 ②ページ数を抑えた上、最大限に軽量化された、薄くても裏写りしにくい用紙を使用しています。 ③特殊な糊を使って製本し、ページが大きく開くため、外側に折り返して手に持っても、ページがはがれず、堅牢なつくりです。 ④印刷は鮮明で、豊富な写真やイラストを効果的に配置しています。
---------	--

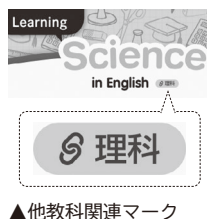
(2) 今日の課題への取り組み

観点	留意点	具体例
①防災・安全	3年間を通して関連する教材を扱うなどして、防災や安全の視点を重視しています。	pp.51～58 Unit 4「How can we help each other in a disaster?」
②環境・資源・エネルギー	Unitでは自然や文化を守る取り組みを、Let's Readでは今日我々が直面する環境問題を、テーマとして大きく扱っています。	pp.92～95 Let's Read 2「Power Your Future」
③多様性・人権への配慮	題材や人物の出身国は、英語圏や非英語圏、日本とできるだけ多様な世界の国々からステレオタイプを避けて設定しています。それぞれの国の良さや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深めたりできるようにしています。また男女のバランスにも配慮しています。	扱う国や人物：インド、南アフリカ共和国 (Unit 5)、アフガニスタン (Unit 6)、アゼルバイジャン (Let's Read 2)、中国系カナダ人のチェン先生ほか
④伝統・文化	日本の伝統・文化の良さを海外に発信し、新たな視点から自国への理解を深めます。	p.18 Learning Japanese in English pp.42～45 Stage Activity 1「Discover Japan」
⑤SDGs・道徳教育との関連	①多様な国々を取り上げることで、世界へ目を向け、視野を広げ、平和・国際貢献の精神を育てることができるようになっています。 ②ペアやグループの学習、発表するときなど、相手意識を持って伝え合い、伝わる喜びを感じられるように配慮しています。	①pp.77～84 Unit 6「What does it mean to be a global citizen?」 ②pp.88～91 Stage Activity 3「Let's Have a Mini Debate」
⑥小中高の連携	①小中高の連携を図るため、学習指導要領をもとにした東京書籍版CAN-DOリストを作成し、それに則って学習目標を設定しています。 ②3年生では、高等学校の学習へ円滑につなぐため、段階的なリーディングの語数増と課題設定に加え、文章構成などを解説しています。巻末には発展的な語彙集もあります。	①巻末CAN-DOリスト ②p.5 学び方コーナー3「パラグラフ・ライティング」 pp.141～144 Word Room
⑦言語力の育成	①レポートでの事実の示し方、ディベートでの意見の述べ方など、国語における留意点と共通性を持たせ、連携を図っています。 ②非連続型テキストの読解力の育成にも配慮し、グラフの読み取りなどを取り上げています。	①②p.10 Unit 1「What is special about Japanese pop culture?」 p.39 Real Life English Scene 3「グラフや表の活用ーレポートー」



(3) 学校教育を取り巻く諸課題への取り組み

観点	留意点	具体例
①先生がたの働き方改革への貢献	①1ページあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 ②各Unitのパート構成を同じにしているため、学習の流れを見通しやすくなっています。 ③Unitでは扉の写真を使ってオーラルイントロを行うことができ、単元の導入から英語を使えるため、全体として「英語で授業」がしやすい流れを作っています。 ④UnitのタイトルでもあるUnit Questionの発問は、Unitを通して考え続ける内容となっており、題材を通して英語の「見方・考え方」を身につけ、学びを深められるように配慮しています。 ⑤活動で発話・対話したり、書いたりする際の例文を紙とデジタルに示し、指導の際にも生徒自身が学習する際にも活用できます。 ⑥Stage Activityでは、カナダの中学生からのビデオレターでやり取りする設定で、写真や動画で生徒の活動の姿が見えるようにしており、国際交流の疑似体験ができるようにしています。	①pp.2～3 目次「学習の見通しを立てよう」 ②③④ pp.9～16 Unit 1「What is special about Japanese pop culture?」 ⑤⑥pp.72～75 Stage Activity 2「My Activity Report」
②カリキュラム・マネジメント・地域連携	①他教科と特に関連を図ったページにはマーク⑨を示し、該当の内容を多面的に、より深く学べるように配慮しています。 ②デジタルコンテンツを活用しながら個別最適な学習ができるように、紙面の文字量を調整し、生徒が自分自身の学習活動に能動的に関わりたくなる工夫を随所に施しています。デジタルマップは地域での方針に沿って伸縮自在に複式学級や少人数授業、家庭学習に活用できる読み物教材です。	①p.40「Learning Science in English」 p.86「Learning Social Studies in English」 ②デジタルマップ（多読用ご当地リーディング）
③GIGAスクール構想の推進（個別最適な学び・協働的な学びのために）	①紙面に付した二次元コードを機器で読み取ることで、本文と語句欄の音声（スピード変更、スラッシュ読み、カラオケ機能、マスク機能付き）や文法解説動画などを視聴できるため、学校でも家庭でも音声や動画を活用した学習ができます。 ②Unitの最初に配置しているPreviewには、二次元コードからアニメーションと音声を視聴できるので、そのUnitで扱っている文法項目を使う「目的・場面・状況」を予想することができ、意味のある文法学習の導入となります。 ③制度化された学習者用デジタル教科書の使用によって、必要な部分を大きくして見たり、音声へのアクセスが簡単にできたり、日本語訳を活用した学習ができたりするため、英語学習の最適な学びの環境を全ての中学生に保障します。	①p.1「デジタルコンテンツを学習に活用しよう!」 ②p.9 Unit 1のPreview



編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配合授業時間数表)

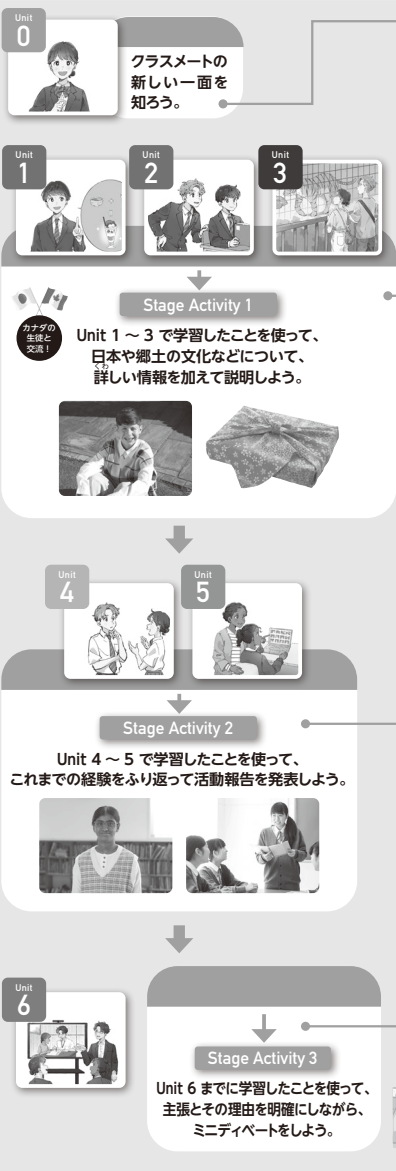
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-68	中学校	外国語	英語	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
2 束書	英語002-92	NEW HORIZON English Course 3		

1 編修上特に意を用いた点や特色

中学3年生の学びから、
誰一人取り残さない英語教育をめざした教科書です。
令和の日本型学校教育を実現するために、この教科書には次のような工夫があります。

1 Activityを積み上げて単元末のゴールの姿を評価

年間指導計画（縦軸）の流れ



3年生の新学期。中学校生活も3年目に入り
クラスメートのことはほぼ知っているつもりだけれど
英語で話してみたらあためて知る意外な一面も！
Book 2の表現を振り返ります。



Stage Activity 年間を大きな3つのテーマでまとめる、バックワードデザインでタスクを構成
(カナダとの交流を擬似体験)

1日本の郷土文化の紹介

2中学校生活のレポート

3ミニディベート

一 活動を積み上げる手順がわかり、学習が見通せる全体構成 一

この教科書は、年間指導計画（縦軸・左図）と単元のまとめ（横軸本資料p.7）とが、有機的に規則性・系統性を持って設計されています。**この構造のもとで、学習の流れはパターン化され、目標（入口）と評価（出口）の場所が明らかになるため、CAN-DOリストに沿ったわかりやすい手順で、確実に力をつけることができます。**各Unitの流れ（横軸）については本資料次ページ参照。

Listening Lion リスニング ライオン Reading Raccoon リーディング ラクーン Speaking Swallows スピーキング スワローズ Speaking Swan スピーキング スワン Writing Whale ライティング ホエール

[5 領域をバランスよく育成]

単元	パート	聞く	読む	やり取り	発表	書く	
Unit	Preview	◎					単元導入のためのリスニング
	Part 1・2	○	◎	◎	○	○	本文と、場面のある代入練習
	Before You Read/ Read and Think 1・2	○	◎	○	○	○	Partの本文を受けて、読み物 (Read and Think) を読むに至る目的・ 場面・状況を導くリスニングと本文
	Unit Activity	○	○	○	◎	◎	単元末活動
	Stage Activity	○	○	◎	◎	◎	4技能統合、定番テーマでのまとめ
Real Life English/Let's Read		◎	◎	◎		◎	実生活密着の英会話など／読書
Grammar for Communication		○	○	○		○	文法の整理